

基本目標

1

-子育て・福祉・健康-

みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり

- 誰もが健康で安心して暮らせる社会の実現のため、あらゆる世代がともに学び合い、地域の人々が互いに支え合って信頼を深め、誇りと愛着を持って元気に暮らせる環境整備などを推進します。
- 少子高齢化社会の中、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進します。

基本施策

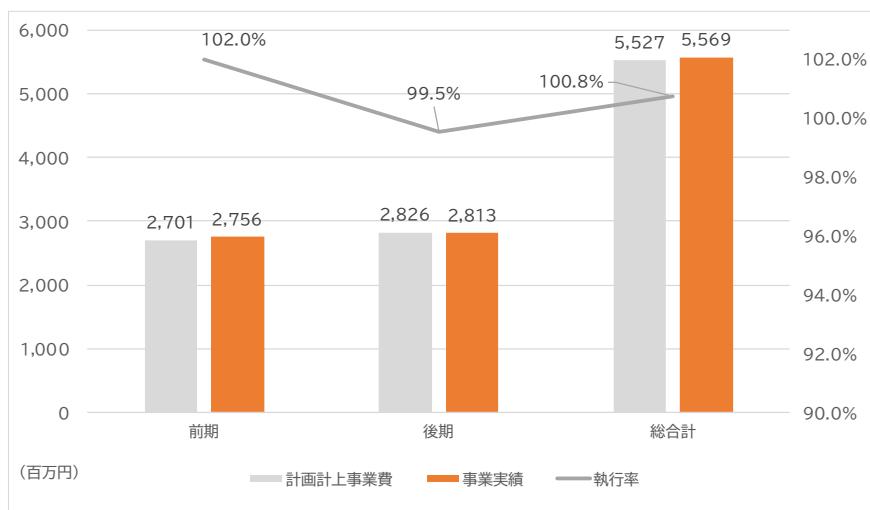
- ① 地域で共に支え合う福祉の充実
 - ② 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進
 - ③ 多世代連携による子育て支援の充実
 - ④ 高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり
- (4次総前期:社会保障制度の堅持)

■評価

- ① 誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるため、地域全体で支え合い、健康で文化的な生活が営めるよう、地域で共に支えあう福祉の充実を図りました。
- ② 健康長寿を実現するため、疾病予防のための環境づくり、普及啓発に取り組むとともに、地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進を図りました。
- ③ 子どもと子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応するため、多世代連携による子育て支援の充実等を図ることで、子育て世代に選ばれるまちづくりを推進しました。
- ④ 高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくりを推進するために、高齢者が地域社会の一員として尊重され、様々な分野で活躍し生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で互いに支え合い、安心して元気に暮らせるような環境を整えました。

■計画計上事業費と事業実績

計画計上事業費	5,527 百万円
事 業 実 績	5,569 百万円
執 行 率	100.8%



単位施策

■指標の達成状況

達成状況の凡例「○:達成(100%以上)」「△:未達成(30%以上 100%未満)」「×:未達成(30%未満)」

前期	単位施策	指標	達成状況							
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
前期	地域福祉ネットワークの充実	地域福祉ボランティア登録者数	△	△	○	○	○			
(ア)	生活支援の充実	就労による自立者の数	○	○	○	○	△	○	○	○
(イ)	障がい者福祉の充実	就労支援事業の利用者数	○	○	○	○	○	○	○	○
(ウ)	ライフステージに応じた健康づくりの支援	健康だと感じる人の割合	△	△	△	△	△	△	○	○
(エ)	子育て世代への重点支援	子育てしやすさ	○	○	○	○	○	○	○	○
(オ)	子育て環境の確保	待機児童数	○	○	×	×	○	○	○	○
		元気な高齢者の割合	○	○	○	○	○	△	○	○
(カ)	高齢者福祉の充実	シルバー人材センターを通じて就労した高齢者数	△	△	△	△	△			
前期	保険制度の安定した運営	ジェネリック医薬品の数量シェア	○	○	△	△	△			
前期	福祉医療の充実	助成制度を利用できる子どもの推定数	○	○	○	○	○			

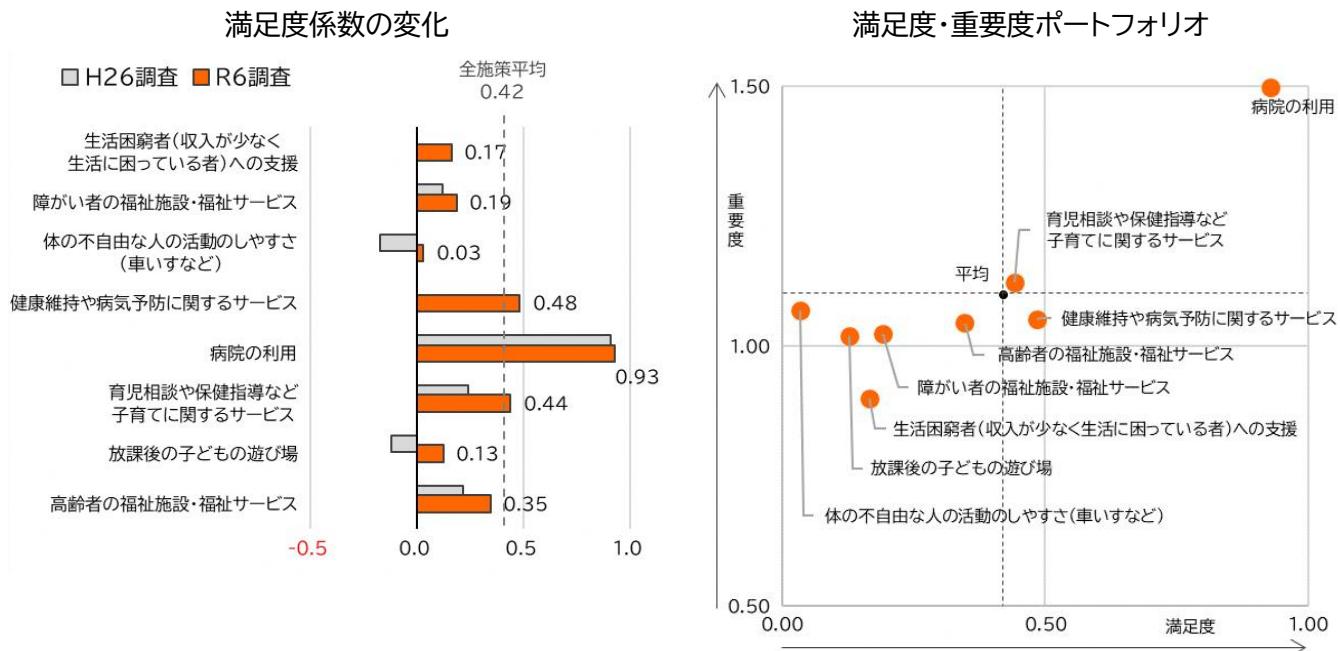
■取組状況(記載例)

- (ア)令和4年9月から「府中町くらしごと自立応援センター」を設置し、関係機関と連携を取りながら、相談者に寄り添った支援を継続し、目標を達成しました。
- (イ)就労支援事業所や窓口における相談事業の充実により、障がい者の就労支援を利用した実績値が目標を上回る結果となりました。
- (ウ)健康マイレージのアプリによるアンケート集計に変更したため、アンケートがわかりやすくなり、実績値は低下していませんが、目標は未達成となりました。
- (エ)新型コロナウイルス感染症の影響を受け、個々の事業は未達成の事業も多くありましたが、人数や回数を減らしての実施やオンラインを活用した新しい形での実施など、工夫を凝らしながら、支援を止めないよう事業を継続した中で、全体として満足度を維持し、目標を達成しました。
- (オ)保育所の待機児童数は、国基準0人で目標は達成できましたが、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、受け入れ先の確保に取り組んでいます。
- (カ)新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで個人及び各団体等の活動が活発となり、目標を達成しました。

■関連する事務事業

- (ア)生活困窮者自立支援事業、ふれあいごみ収集事業
- (イ)地域生活支援強化事業、精神障がい者通院医療費助成事業
- (ウ)健康づくり啓発事業、任意予防接種費用助成事業、骨髓ドナー助成事業
- (エ)子育て応援事業、不妊治療費助成事業、児童センター事業、放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業、ネウボラセンター事業、子ども医療費助成事業、子どもの予防的支援構築事業、不育症治療費助成事業
- (オ)地域子育て支援拠点事業、病児・病後児保育事業、プラチナ保育支援事業、保育所等創設助成事業
- (カ)高齢者いきいき活動ポイント事業、介護施設整備助成事業

■住民アンケートによる評価



<アンケート等からみえる状況>(記載例)

- 住民からみた施策満足度は全ての項目で前回策定時調査(H26)を上回っており、「病院の利用」については満足度が特に高くなっています。【上記比較グラフ】
- 「病院の利用」は全施策の中で2番目に満足度の高い項目となっています。【住民意識調査報告書/P59/問18 総合的な満足度の状況】
- 満足度と重要度から分布したポートフォリオグラフをみると、重要度が高く満足度も高い項目に「病院の利用」「育児相談や保健指導など子育てに関するサービス」が挙げられており、「病院の利用」については特に重要度が高くなっています。【上記ポートフォリオ】
- 「保健・福祉の分野」の中で重要な項目は「高齢者、障がい者への福祉サービスの充実」が最も高く、「子育て支援の充実」が続いている。【住民意識調査報告書/P81/問23⑤】
- 今後行政サービスのデジタル化を推進するために特に重要な分野について、「保健・医療・福祉分野」が群を抜いて高くなっています。【住民意識調査報告書/P91/問26】
- 引っ越してきて、以前のまちより府中町の方が優れていることについて「子育て環境の充実度」が4番目に高くなっています。【住民意識調査報告書/P95/問29 前回調査比較】
- 今後、府中町がめざしていくべき将来像として、「子育てがしやすいまち」が最も高く、「高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち」が2番目に高い項目となっています。【住民意識調査報告書/P115/問34】
- 中学生アンケートにおいても、めざしていく将来像として、「子育てがしやすいまち」が最も高くなっています。【中学生調査報告書/P14/問9】

■課題の整理(記載例)

- 積み残された課題
 - ▶ 各施策の重要度の高さに対して、……
- 新たに発生した課題
 - ▶ 高齢者、障がい者への福祉サービスや子育て支援の充実は、……

学び合い、志を育むまちづくり

- 「あいさつ」「感謝」「志」をキーワードとして、知・徳・体の「基礎・基本」が身に付き、主体的に学び、社会に貢献しようという高い志を持つ子どもを育成する教育を行います。
- すべての世代が生涯を通じて学び合い、文化・芸術・歴史とふれ合うとともにスポーツに親しむ機会をつくるなど、生きがいを育み、地域文化に根ざした生涯学習が行われる環境整備などを推進します。
- 安心・安全で質の高い教育環境を確保します。

基本施策

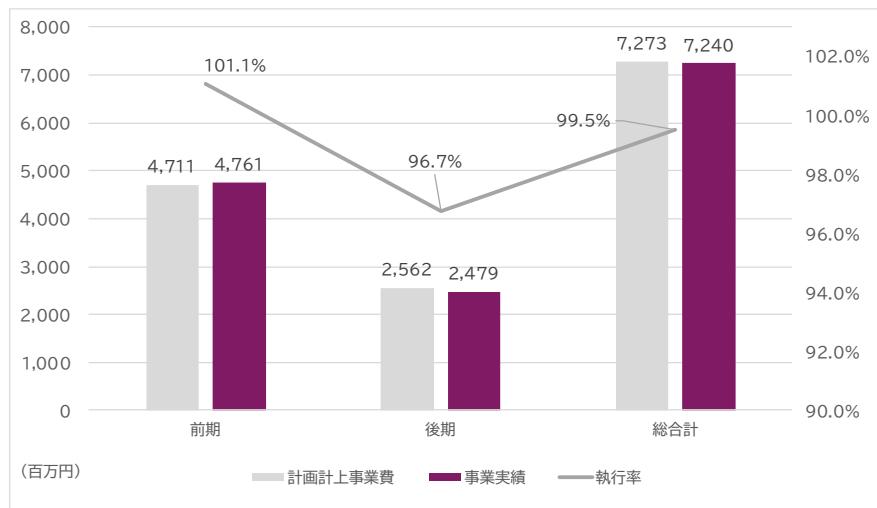
- ① 「志」の教育 信頼される学校教育の確立（4次総前期：あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進）
- ② 学び合い生きがいを育む社会教育の充実
- ③ 安心・安全で質の高い教育環境の整備

■評価

- ① 学校改善に取組むと同時に、校種間連携・地域連携を図りながら、信頼される学校教育を確立し、「あいさつ」「感謝」をベースとした「志」の教育を推進しました。
- ② 生涯を通じて学んだことを活かした活躍ができるよう環境を整え、ボランティア団体等との連携・協力を図りながら、「学び合い 生きがいを育む社会教育の充実を図りました。
- ③ 生涯にわたり学ぶ力を養うため、多様な学習活動に対応した安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実に取り組みました。

■計画計上事業費と事業実績

計画計上事業費	7,273 百万円
事業実績	7,240 百万円
執行率	99.5%



単位施策

■指標の達成状況

達成状況の凡例「○：達成(100%以上)」「△：未達成(30%以上 100%未満)」「×：未達成(30%未満)」

	単位施策	指標	達成状況								
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
(ア) 志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成	「将来の夢や目標はかなうと思う」と答える児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の結果	小学校	△	○	△	○	—	○	△	△
			中学校	△	△	△	△	—	△	×	○
			小学校	△	○	○	○	○	△	△	△
	全国学力・学習状況調査の正答率 30%未満の児童生徒の割合	中学校	△	△	△	△	△	△	○	△	
		小学校							△	△	△
	「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合	中学校							△	△	×
		小学校							○	△	△
	「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合	中学校							○	△	△
		コミュニティ・スクール導入校数	△	×	○	○	○				
(イ) 学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進	児童生徒一人一人の自立を目指した就学支援の充実	「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合	小学校	△	○	△	△	○	△	△	△
			中学校	○	○	○	○	○	○	△	△
	生涯各期に応じた学習機会の充実	生涯学習活動数	○	○	○	○	△	△	○	○	
	芸術・文化の普及・振興	芸術文化イベント参加者及び活動者数	△	△	△	△	△	△	△	△	
	スポーツの振興	社会体育施設利用者数	○	○	△	△	△	△	△	○	○
	(キ) 教育施設・設備の充実	施策(事務事業総括)進捗率	○	○	○	○	△				
		教育施設の耐震施設数	○	○	○	○	△				

■取組状況(記載例)

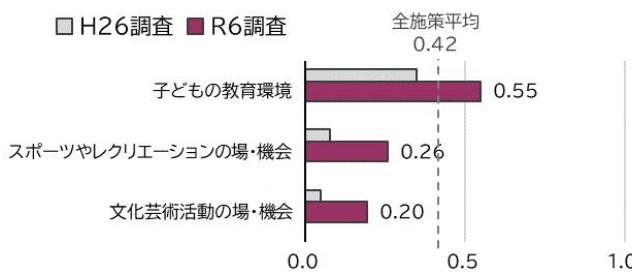
- (ア)目標指標に対して、良化した数値もあれば悪化した数値もあり、不安定な状況となっています。
- (イ)コミュニティ・スクール等、地域が学校に関わる取組を推進している事務事業は予定通り実施しています。
- (ウ)学校運営改善に係る事務事業の成果が、児童生徒の授業の理解力・納得力へ結び付いていないことを示していると思われるものの、方向性としては維持を予定しています。
- (エ)公民館や図書館において、生涯各期に応じた学習機会は十分に提供できているものと考えています。
- (オ)あきふちゅう文化協会会員数が伸び悩んでいます。
- (カ)社会体育施設利用者数はコロナ禍を明けて増加傾向であり、町民のスポーツ熱の高まりを反映しているものと考えられます。
- (キ)「府中南公民館改築事業」の延伸という実施計画の変更により、総事務事業費が減額となったことが大きく影響し、進捗率が高まり、目標値を達成しています。

■関連する事務事業

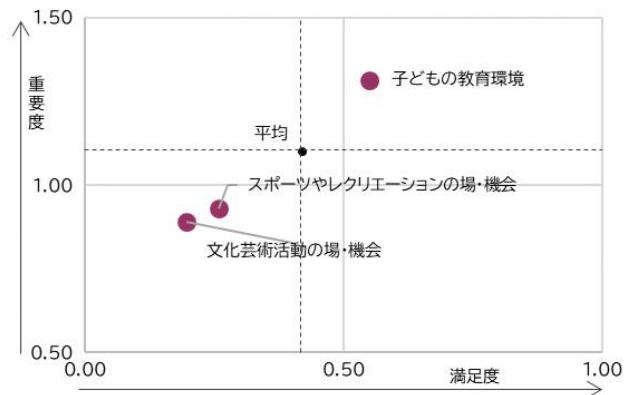
- (ア)小中連携教育充実事業、体験活動推進事業、志を育てる教育事業、グローバル教育事業、学校図書館教育充実事業
- (イ)コミュニティ・スクール運営事業、地域学校協働活動推進事業
- (ウ)学校運営改善推進事業
- (エ)公民館活動事業、図書館活動事業、ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業
- (オ)下岡田官衙遺跡保存・整備事業
- (カ)揚倉山健康運動公園体育施設運営事業
- (キ)府中公民館等改築事業、学校施設改修等事業、学校施設整備事業

■住民アンケートによる評価

満足度係数の変化



満足度・重要度ポートフォリオ



<アンケート等からみえる状況> (記載例)

- 住民からみた施策満足度は全ての項目で前回策定時調査(H26)を上回っていますが、「子どもの教育環境」以外は全施策平均を下回っています。【上記比較グラフ】
- 満足度と重要度から分布したポートフォリオグラフをみると、重要度が高く満足度も高い項目に「子どもの教育環境」が挙げられています。【上記ポートフォリオ】
- 「教育の分野」の中で重要な項目は「学校教育の充実」が最も高くなっています。【住民意識調査報告書/P79/問23④】
- 今後行政サービスのデジタル化を推進するために特に重要な分野について、「教育・文化・スポーツ分野」が2位となっています。【住民意識調査報告書/P91/問26】

■課題の整理 (記載例)

- 積み残された課題
- ▶ 住民アンケートでは、……
- 新たに発生した課題
- ▶ 国史跡指定を受けた下岡田官衙遺跡は、……

基本目標

3

－安全・環境・地域－

誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり

- 自然災害、多様化する犯罪及び火災や増加する救急需要に対し、自助・共助・公助※により、安全で安心して暮らすことができる体制を構築します。
- 水と緑に恵まれた美しいふるさとを守り、育てるための総合的な環境が整ったまちづくりを推進し、子どもが安心して遊べる環境づくりを構築します。
- 地域に活力があふれ、住民一人ひとりが、共に育ち、支え、伝えあって明るく住みやすいまちづくりを推進します。

基本施策

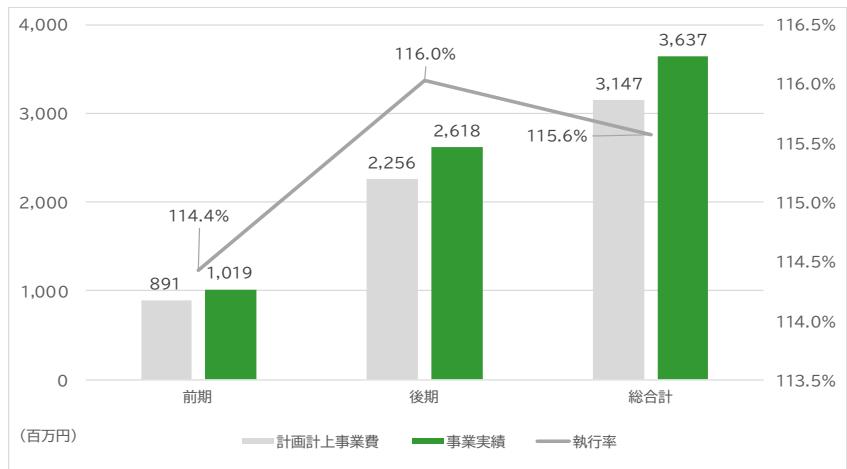
- ① 災害に強いまちづくり
- ② 総合的な環境対策の推進
- ③ 地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり（前期：安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり）
- ④ 暮らしを守る消防体制づくりの推進

■評価

- ① 多発している自然災害や、南海トラフ巨大地震における防災・減災を目指し、地域の強靭化を進めるとともに、住民・関係機関・行政が協働・連携し、地域防災力の向上を図ることで、災害に強いまちづくりに努めました。
- ② 「環境」「経済」「社会」が相互に関連しつつ、環境負荷の低減を図り、低炭素・資源循環・自然共生型のまちづくりの実現に向けて総合的な環境対策の推進を図りました。
- ③ 地域と協働しながら防犯・交通安全などの安心安全なまちづくりを総合的に推進しました。
- ④ 多発する様々な災害に備えるとともに、火災を予防し、住民と連携しながら、暮らしを守る消防体制づくりの推進を図りました。

■計画計上事業費と事業実績

計画計上事業費	3,147 百万円
事業実績	3,637 百万円
執行率	115.6%



単位施策

■指標の達成状況

達成状況の凡例「○:達成(100%以上)」「△:未達成(30%以上 100%未満)」「×:未達成(30%未満)」

単位施策	指標	達成状況							
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(ア) 住民と行政が連携した防災の推進	自主防災組織の組織率	△	△	△	○	△	○	○	△
(イ) 防災体制の充実・強化	避難所敷地内備蓄倉庫整備数(累計)						○	○	○
(ウ) 市街地の浸水対策	浸水被害対象家屋数	○	○	○	○	○	○	○	○
	森林の間伐面積						△	△	○
(エ) 低炭素型のまちづくりの推進	府中町の温室効果ガス排出量の削減	△	△	△	△	△			
(オ) 自然と共生する快適環境の推進	水分峡森林公園の来園者数						○	△	△
	自然に身近な公園の来園者数	△	△	△	△	△			
(カ) 資源循環による環境負荷の低減	家庭系普通ごみの分別率						△	△	△
	事業系普通ごみの分別率						○	△	△
	ごみのリサイクル率	△	△	△	△	△			
(キ) 協働型環境づくりの推進	協働連携により取り組む環境づくりの活動数	△	△	△	△	×	×	△	△
(ク) 人権の尊重と男女共同参画社会の推進	普及啓発活動参加者数	○	○	○	○	△	△	○	○
(ケ) 地域の活性化	町内会加入率						△	△	△
	観光客数	○	○	△	△	×			
	人口千人あたりの犯罪件数	○	○	○	○	○	○	○	△
(コ) 地域安全活動の推進	交通事故の抑止	○	○	○	○	○			
	消費者被害未然防止・再発防止件数	○	○	△	△	△			
(サ) 火災予防体制の充実・強化	火災件数	○	△	○	○	○	○	○	○
(シ) 消防体制の充実・強化	消防団訓練活動回数	○	○	○	○	△	○	○	○
(ス) 救急体制の充実・強化	応急手当講習の参加者数	○	○	○	○	○	△	○	○

■取組状況(記載例)

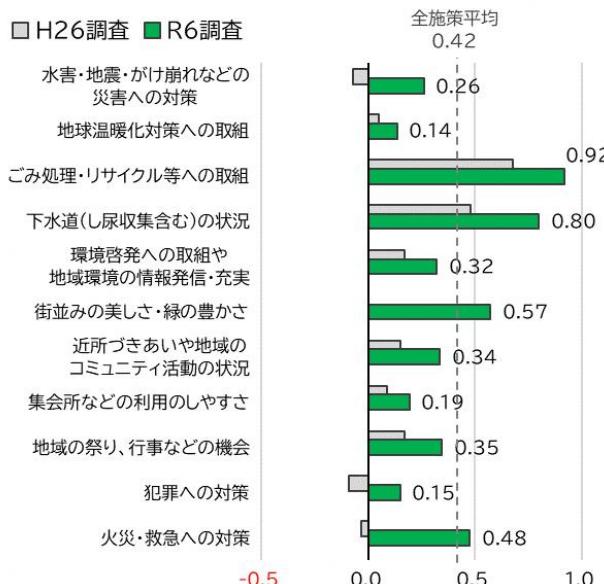
- (ア)自主防災組織について、R5 年度に新設された町内会は、体制が整った後に働きかけていく予定です。
- (イ)各指定避難所への分散備蓄倉庫設置を計画どおり進めています。
- (エ)R5 年度には特定財源(ひろしまの森づくり事業)を確保し、森林整備 4.2ha を実施しています。
- (オ)H30 年 7 月豪雨災害以降、森林の荒廃が顕在化しています。
- (カ)家庭系ごみ・事業系ごみの分別率は、改善がみられるものの目標は未達成です。
- (ク)人権・男女関連の普及啓発を学校行事等と合わせて実施したため、参加者の増加につながっています。
- (ケ)広報紙の配布やごみ収集など、町内会に加入しなくても行政サービスを受けることができるることを一因として、町内会加入にメリットを感じない世帯が増えている傾向がみられます。
- (コ)大型商業施設による「自転車盗」が多い傾向がみられます。
- (ス)ホームページや広報誌等を広報に活用したことで、応急手当講習の受講者数は増加しています。

■関連する事務事業

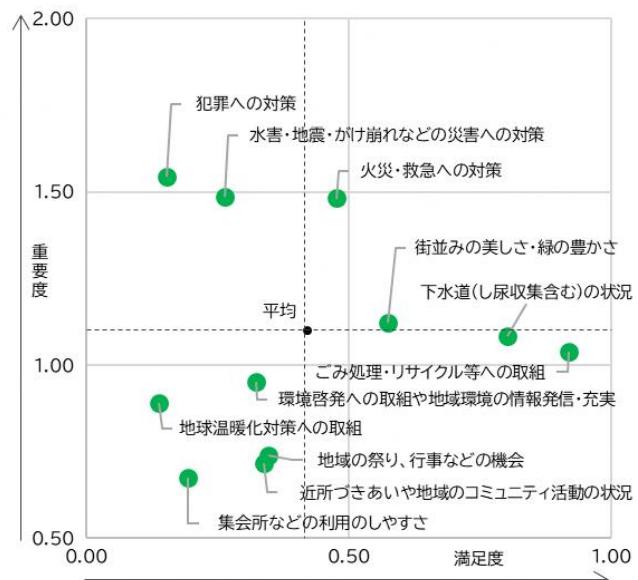
- (ア)防災・減災推進事業
 - (イ)防災体制強化事業
 - (ウ)下水道事業<雨水>
 - (エ)低炭素型社会づくり推進事業
 - (オ)府中の森づくり事業
 - (カ)廃棄物適正処理推進事業
 - (キ)協働型環境づくり事業
 - (ク)人権推進事業、男女共同参画推進事業
 - (ケ)地域コミュニティ活動支援事業、事業者支援事業、観光事業
 - (コ)交通安全対策事業、消費者行政推進事業
 - (サ)地域防火体制強化事業
 - (シ)初期消火強化事業
 - (ス)救急体制強化事業
-

■住民アンケートによる評価

満足度係数の変化



満足度・重要度ポートフォリオ



<アンケート等からみえる状況>(記載例)

- 住民からみた施策満足度は全ての項目で前回策定時調査(H26)を上回っていますが、特に「地球温暖化対策への取組」「集会所などの利用のしやすさ」「犯罪への対策」の満足度が低くなっています。【上記比較グラフ】
- 「ごみ処理・リサイクル等への取組」は全施策の中で3番目に満足度の高い項目となっています。【住民意識調査報告書/P59/問18 総合的な満足度の状況】
- 満足度と重要度から分布したポートフォリオグラフをみると、重要度が高いにも関わらず満足度の低い、すぐにでも取り組むべき項目として「犯罪への対策」「水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策」が挙げられています。【上記ポートフォリオ】
- 行政と住民・民間企業等が連携して取り組むべき項目として、住民は「防災活動」、事業者は「防犯活動」がそれぞれ最も高くなっています。【住民意識調査報告書/P37/問17】【事業者調査報告書/P10/問9】
- 府中町のよくない点では、「自然災害に対する不安が多い」が最も高くなっています。【住民意識調査報告書/P65/問20】
- 中学生アンケートにおいては、府中町のよくない点では、「公園が充実していない」が最も高くなっています。【中学生調査報告書/P10/問8】
- 「安全・安心の分野」の中で重要だと思う項目は「土砂災害対策の強化」が最も高くなっています。また、「環境保全の分野」の中で重要だと思う項目は「ごみの減量化、リサイクルの推進」が最も高くなっています。さらに、「自治振興の分野」の中で重要だと思う項目は「雇用の促進」が最も高くなっています。【住民意識調査報告書/P77/問23③】【〃/P75/問23②】【〃/P83/問23⑥】
- 事業者が協働のまちづくりについて取り組んでいる活動では、「地域活動への協力」が最も高くなっています。【事業者調査報告書/P8/問7】
- 今後、府中町がめざしていくべき将来像として、「豪雨災害や地震などの自然災害に強いまち」が3番目に高い項目となっています。【住民意識調査報告書/P115/問34】

■課題の整理(記載例)

- 積み残された課題
 - ▶ 「犯罪への対策」は、……
- 新たに発生した課題
 - ▶ 町内会への加入について、……

基本目標

4

–都市基盤・住環境–

便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり

- 若い世代からお年寄りまでが住みよいと感じられる住環境の整備を推進します。
- 住みよいまちづくりのための都市基盤と計画的な土地利用を図ることにより、活力と賑わいを創出します。

基本施策

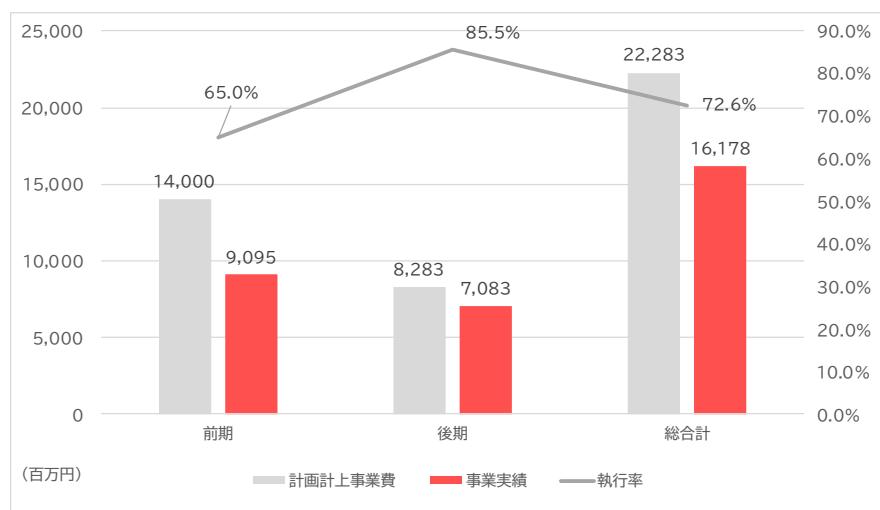
- ① 計画的な都市整備の推進
- ② 社会資本の安定的な供給
- ③ 活力あるまちづくりを支える公共財産の有効活用
(4次総前期:快適・安全な生活環境の確保)

■評価

- ① 誰もが暮らしやすい都市空間を形成するため、計画的な都市整備の推進を図ることで、快適で活力と賑わいにあふれるまちづくりに取り組みました。
- ② 社会資本(道路、橋りょう、公園、河川等)の安定的な供給を図りました。
- ③ 公共施設の施設カルテを作成し、建築物の劣化度を把握することで、活力あるまちづくりを支えるために、公共財産の有効活用を図りました。

■計画計上事業費と事業実績

計画計上事業費	22,283 百万円
事 業 実 績	16,178 百万円
執 行 率	72.6%



単位施策

■指標の達成状況

達成状況の凡例「○:達成(100%以上)」「△:未達成(30%以上 100%未満)」「×:未達成(30%未満)」

単位施策	指標	達成状況								
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
(ア) 計画的な土地利用の誘導	市街化区域内で都市的土地区画整備が実施されている土地面積の割合						○	○	△	
	宅地など人に利用されている土地面積の割合	△	△	○	○	○				
(イ) 都市施設の整備	都市計画道路の整備率	—	○	△	△	△	○	○	△	
	幅員4m未満の町道延長割合						○	○	○	
	公園の面積	—	○	○	△	△	○	○	△	
	補助街路の整備率	○	○	△	○	○				
(ウ) 住環境の向上	実施計画期間中の新設住宅着工戸数(累計)						△	△	△	
	住宅の用に供する建築物着工件数(改築を含む)	△	△	○	△	△				
(エ) 生活環境の向上	公共下水道人口普及率	○	○	○	○	○	○	○	△	
	実施計画期間中の修繕実施橋りょう数(累計)						○	○	○	
(オ) インフラ資産の計画的な維持・保全	実施計画期間中の修繕実施道路延長(累計)						△	△	△	
	橋梁長寿命化修繕実施済み橋数	△	△	△	○	○				
(カ) 公共施設の適切な財産管理	実施計画期間中の改修実施施設数(累計)						○	△	△	
	予防型改修の施設数(築15年未満の施設を対象)	×	△	△	△	△				
前期	官民境界先行調査の進捗率	△	△	△	×	△				
	上水道の水質基準適合率	○	○	○	○	○				

■取組状況(記載例)

- (ア) 人口減少が加速化し、都市部の空洞化等が社会問題となっている中、府中町では、住宅の新築・建替えは順調に進んでおり、人口も維持されています。
- (ア) 町では、「コンパクト+ネットワーク型の都市」、「安心・安全に暮らせる都市」の実現に向け、府中町立地適正化計画を策定しました。
- (イ) 広島県施行の都市計画道路青崎池尻線は、令和5年度の供用開始予定が令和6年度中の整備完了、供用開始予定となっています。
- (イ) 鶴江ふれあい広場の拡張工事を令和6年度に延伸しました。
- (エ) 計画通り公共下水道整備を進めていますが、整備箇所の人口密度が低いことなどが要因となり公共下水道人口普及率が伸びていない状況です。
- (オ) 橋りょうの維持・保全については、国の令和5年度補正予算を活用し、令和6年度計画分を前倒して実施したことから、目標値より3橋多く修繕を行っています。
- (オ) 道路の維持・保全については、道路舗装修繕計画に基づき、道路舗装の修繕を計画的に進めていますが、人件費や材料費等が高騰しており、修繕工事延長が伸びていない状況です。
- (カ) 改修予定の公共施設のうち空城山公園管理棟については、公園全体のリニューアル計画が進行中であり、計画に併せての実施を予定しています。

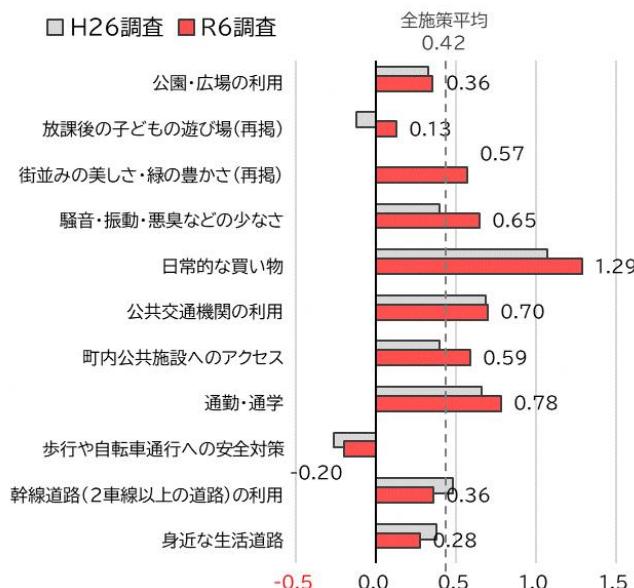
■関連する事務事業

(ア)都市計画調査事業

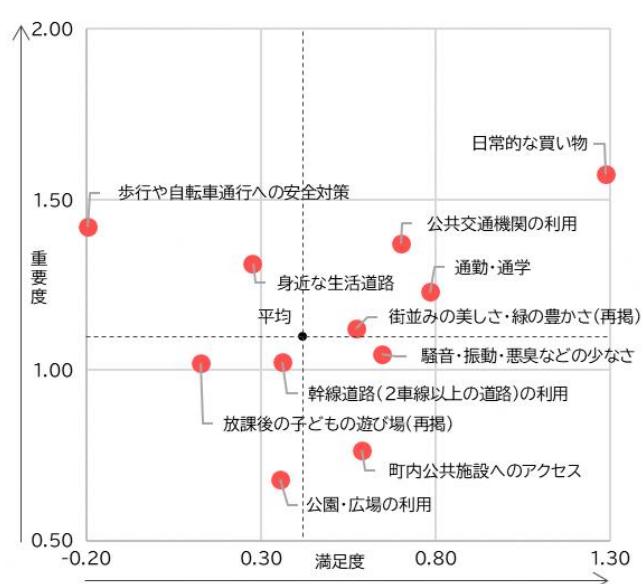
- (イ)向洋駅周辺土地区画整理事業、広島市東部地区連続立体交差事業、県施行街路事業負担金事業、補助街路整備事業、道路新設改良事業、狭い道路整備等促進事業、都市公園等整備事業
- (ウ)住環境改善事業、急傾斜地崩壊対策事業、コミュニティバス等運行事業
- (エ)下水道事業<汚水>
- (オ)橋りょう長寿命化事業、道路補修等事業、都市公園等長寿命化事業
- (カ)公共施設維持保全事業、公共施設ネーミングライツ事業

■住民アンケートによる評価

満足度係数の変化



満足度・重要度ポートフォリオ



<アンケート等からみえる状況>(記載例)

- 住民からみた施策満足度は「幹線道路の利用」「身近な生活道路」の2項目で前回策定時調査(H26)を下回っています。特に、「歩行や自転車通行への安全対策」の満足度が低くなっています。【上記比較グラフ】
- 「日常的な買い物」は全施策の中で最も満足度の高い項目となっています。【住民意識調査報告書/P59/問18 総合的な満足度の状況】
- 満足度と重要度から分布したポートフォリオグラフをみると、重要度が高いにも関わらず満足度の低い、すぐにでも取り組むべき項目として「歩行や自転車通行への安全対策」「身近な生活道路」が挙げられています。【上記ポートフォリオ】
- 府中町に暮らし続けたいと思う理由として「日常生活に便利だから」が最も高くなっています。また、府中町の魅力的な点についても「買い物等の日常生活に便利」が最も高く、次いで「公共交通などによるアクセスがよい」が高くなっています。【住民意識調査報告書/P25/問13】
- 「生活利便の分野」の中で重要な項目では、「向洋駅周辺の区画整理とJR高架化の推進」が最も高く、「補助街路の整備推進」、「バスなど公共交通機関の充実」が続いている。【住民意識調査報告書/P73/問23①】
- 引っ越してきて、以前のまちより府中町の方が優れていることについて「買い物等の日常生活の利便性」が最も高く、「公共交通や高速道路などによるアクセスのよさ」が3番目に高くなっています。【住民意識調査報告書/P95/問29 前回調査比較】
- 事業者調査では、府中町全体の産業振興のために必要な施策として「商店街など地元地域の活性化」が最も高くなっています。【事業者調査報告書/P16/問13】

■課題の整理(記載例)

- 積み残された課題
 - ▶ 「身近な生活道路」は、……
- 新たに発生した課題
 - ▶ 「歩行者や自転車通行への安全対策」は、……

持続可能なまちづくり

- まちの特色を活かした独自性あるまちづくりを実現し、住民一人ひとりが「住んでよかった」又「住んでみたい」と魅力を感じるまちづくりを推進します。
- 安定した財政基盤のもと、住民満足度の高い自治体経営を行います。

基本施策

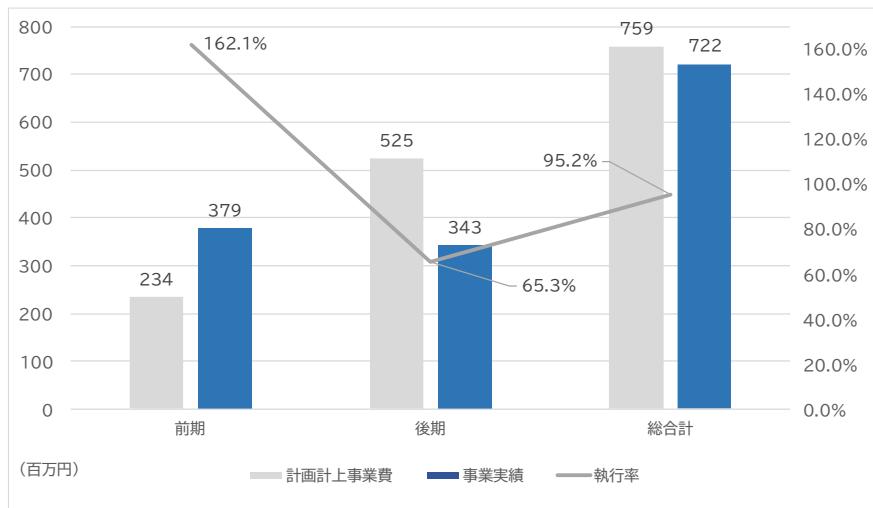
- ① 総合的なまちづくりの推進
- ② 自治を支える安定した行財政運営
- ③ 住民に便利な行政サービスの提供
- ④ 自治を支える人材育成

■評価

- ① 地域社会の課題や住民ニーズが複雑化・多様化する中、住民に身近な基礎自治体として、計画性と柔軟性をあわせ持つ行政運営を図り、長期的な視野に立った総合的なまちづくりを推進しました。
- ② 必要とされる行政サービスの提供のため、社会情勢の変化や住民の声を反映させながら、自治を支える安定した行財政運営を図りました。
- ③ 情報技術が急速に進展している中で、行政サービスの利便性向上に努め、個人情報の適正な取り扱いを確保するとともに、住民に便利な行政サービスの提供を推進しました。
- ④ 地方分権の推進に伴い、市町の企画力・行政力がますます重要になっているため、自治を支える人材育成に力を入れるとともに、住民から一層信頼される組織づくり、職員づくりを推進しました。

■計画計上事業費と事業実績

計画計上事業費	759 百万円
事 業 実 績	722 百万円
執 行 率	95.2%



単位施策

■指標の達成状況

達成状況の凡例「○:達成(100%以上)」「△:未達成(30%以上 100%未満)」「×:未達成(30%未満)」

	単位施策	指標	達成状況							
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(ア)	戦略的なまちづくりの推進	全単位施策指標の目標達成率	○	○	○	○	△	△	△	△
(イ)	自治の体制強化	他自治体と新たに取り組む連携事務数(累計)	○	○	○	○	○	○	○	○
		平和に関する情報発信回数						○	○	○
(ウ)	平和行政の展開	平和祈念式(町主催)への参加者数	○	○	○	○	○			
前期	行政改革の推進	行政改革プラン目標達成率	×	×	△	△	△			
		府中町の認知度(県内居住者Webアンケート)						△	△	△
(エ)	まちの魅力発信	報道機関を通じた行政情報の発信件数	○	○	○	○	○			
(オ)	持続可能な行財政運営	財政調整積立基金年度末現在高	○	○	○	○	○	○	○	○
		町税の収納率 (現年分+滞納繰越分)	○	○	○	○	○	○	○	○
(カ)	多様な行政サービスの提供	個人番号カード交付率					○	○	○	
		府中南交流センターの利用者数	○	○	△	△	△			
		ふちゅう情報プラザつばき館の利用者数	○	○	○	○	○			
(キ)	職員の総合的な能力開発と新たな働き方の推進	職員の研修参加者数	○	○	○	○	△	△	△	△

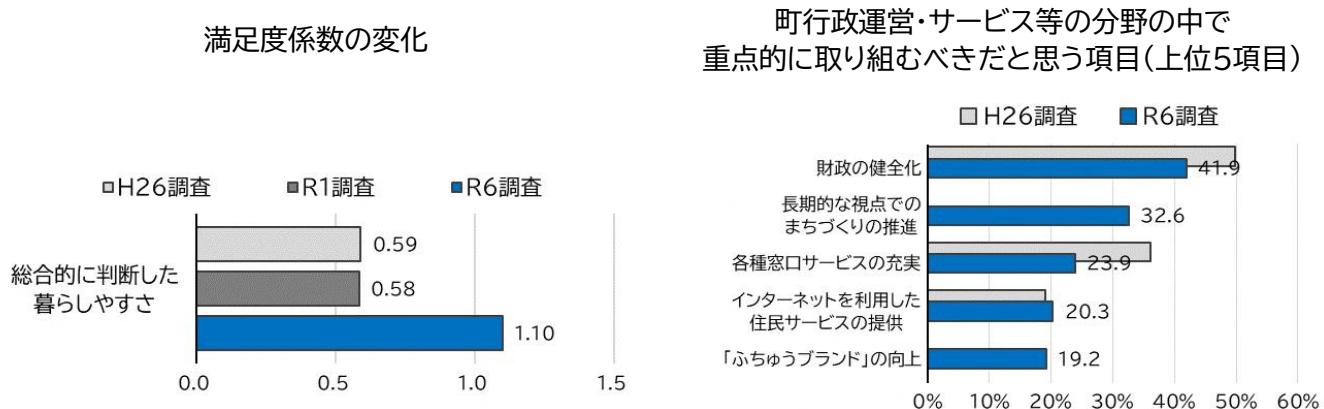
■取組状況(記載例)

- (ア)全施策の達成率をみると、新型コロナウイルス感染症等の影響から、令和2年以降は未達成が続いている。
- (ウ)平和記念式典の開催にあたり防災無線での放送、広報での情報発信を積極的に行うとともに、実施内容について、ホームページで発信しています。
- (オ)財政調整積立基金年度末現在高について、実質収支が黒字となる年度が続いたこともあり、目標値を上回っているものの、潤沢と言える状態ではありません。
- (オ)町税の収納率について、現年分の滞納が生じた段階で督促、催告を行い、大きな滞納者が生じないよう早期の抑え込みを心掛けました。
- (カ)マイナポイント事業について、受付を外部委託するなど、人員体制を整備しています。
- (キ)職員の研修については、リモートなど、実施方法を工夫しながら実施しています。

■関連する事務事業

- (ア)総合計画推進事業
- (イ)広島広域都市圏推進事業
- (ウ)なし
- (エ)魅力発信事業
- (オ)まちづくり振興基金積立金事業
- (カ)個人番号カード交付促進事業、新たな業務スタイル推進事業
- (キ)新たな働き方推進事業

■住民アンケートによる評価



<アンケート等からみえる状況>(記載例)

- 総合的な暮らしやすさに関する満足度は前回策定期調査(H26)、改定期調査(R1)に比べて大きく増加しています。【上記比較グラフ(左)】
- 「町行政運営・サービス等の分野」の中で重点的に取り組むべきだと思う項目では「財政の健全化」が最も高くなっています。【上記比較グラフ(右)】
- 府中町は「暮らしやすい」または「まあまあ暮らしやすい」と回答した割合は9割以上となっています。【住民意識調査報告書/P21/問11】
- 府中町の町政に関する情報の主な入手手段は「広報ふちゅう」で8割以上となっています。【住民意識調査報告書/P25/問14】
- 引っ越してきて、以前のまちより府中町の方が優れていることについて「まちのイメージ」が2番目に高くなっています。【住民意識調査報告書/P95/問29 前回調査比較】

■課題の整理(記載例)

- 積み残された課題
 - ▶ 誰もが「住んでよかったです」「住んでみたい」「これからも住み続けたい」……
- 新たに発生した課題
 - ▶ 自治の体制強化は、……